

経営事例発表会 (H.17.10.4)

城東印刷(株) 代表取締役社長 荻田緋佐子

昨年の10月4日に経営事例発表会がありました。この日のスピーカーは、(有)ディ・ゾネ代表取締役の牧吉子さん、(株)マルヨシドレス代表取締役の木内達子さんでした。牧さんはディ・ゾネの方は縮小されているとの事で、本体である「医療法人清翠会」をご主人とご苦労されて、一から立ち上げられたお話をお伺いすることができました。勤務医であったご主人が夜間診療を始められ、以来3人のご子息を育てながら、病院の裏方として、昼夜無く頑張られたそうです。病院もだんだん大きくなった矢先の平成4年に、ご主人が亡くなられました。その後は三男さんが立派に後を継がれ、平成10年からは老人保健施設を内科医の次男さんが立ち上げられ新病院が完成。リハビリテーション病院の新設等「医療と福祉の一体化」を願って益々拡大されています。

木内さんのお話は、「50年を顧みて」と題して昭和30年にご主人25才、木内さん22才と若いお二人で洋服作りを手がけ、50年になります。やはり、木内さんも大変なご苦労をされ、今では立派にアパレルメーカーとして創立以来一步一步踏みしめて得た経験を生かして、お客様に喜んで頂けるよう日夜、社員共々努力しています。というお話をお伺いしました。お二人の重みのあるお話は、心に感動を覚えました。



経営事例発表会 (H.18.3.3)

テーラー寺本 取締役 寺本美津子

3月3日のお雛祭りの日、小雨模様のなかにも関わらず多数の会員に出席いただき、経営事例発表会が開かれました。河内副会長からお二人の紹介の後、まず(株)ワールドビジネスセンター取締役専務篠原レイ子さんより「日本のよみがえりを志として」と題し、ご主人との2人3脚で企業教育コンサルタントの仕事を始められ、大阪を拠点に国内外の企業と契約を結んでこられた事、様々な艱難辛苦を味わいながらも常に素晴らしい日本の国に生まれた事への感謝、自分の使命をまっとうして人生を完了したいという思い、関っている企業の成長、発展、繁栄のため利他の愛で魂を込めて仕事をされている事などを終始にこやかな笑顔で話されました。また、昨年8月より祈りを込めて描かれた富士山の絵を披露され、出席者からは感動の溜息が漏れました。

続いて、ゆり工房代表中村百合恵さんは「“和心伝新” 錫に魅せられて…」と題して、錫の歴史から始まり、ご主人が10代目となる由緒ある会社が、ある日突然暖簾を降ろすことになり青天霹靂の思いで趣味でやっていた鍛金の世界に入られた事。創作に力を注ぐうちに素晴らしい人との出会いによって、凛とした錫の器の佇まいの美を教わったこと。失敗の連続の末、切磋琢磨しながら仕事を続けた結果、口コミで広がり今の発展がある事。「最初の気持ちを大切に、重みのある感情を込めてこれからも創作に打ち込みたい。悲しい出発から失ったものも多けれど、一生懸命に創る器をとおして“和”の心を伝えていく…」との強い決意を感じました。

以上、お二人の事例発表を聞き、私自身も身体の内から湧き出る力強いエネルギーを持ち帰ることができました。

平成17年度の主な事業

平成17年		
5月16日(月)	講演会<コミュニケーションの為の心理学>	大商女性会
6月 3日(金)	近畿女性会連合会近江八幡大会	近女連事業
7月 8日(金)	平成17年度通常総会・講演会	大商女性会
9月 2日(金)	全国女性会連合会名古屋総会	全女連事業
10月 4日(火)	経営事例発表会	大商女性会
10月12日(水)	大阪府女性会連合会 北部ブロック研修会	府女連事業
11月11日(金)		
~12日(土)	大阪府女性会連合会研修・交流会	府女連事業
12月 2日(金)	役員・新入会員との懇親会	大商女性会
12月 6日(火)	講演会<決算書のやさしい見方>	大商女性会
平成18年		
1月17日(火)	平成18年新年互礼会	大商女性会
2月 3日(金)	原子力勉強会	大商女性会
3月 3日(金)	経営事例発表会	大商女性会
3月23日(木)	大阪府女性会連合会総会・講演会	府女連事業

◆編◆集◆後◆記◆

寒さもゆるんで、ひと雨ごとに春めいてまいりました。

広報部では、今回秋号につづいて、春号は新入会員による「貴女の元気いただきます」を特集しました。

編集は、会議所5Fの会議室に集まって、企画にはじまり、原稿の依頼、編集、そして校正へ。校正が終われば、もう次の企画の相談がはじまります。

「それは私がやりましょう」「私がやらせて頂いていいですか」という積極的な部員の言葉が、広報紙の紙面づくりの後押しをしてくれました。これからも、会員皆様のご提案をお待ちしております。

(広報委員会)

※掲載している役職は全て開催当時のものです。

NOW

Vol.14

2006年春号

大商女性会 編集発行/大阪商工会議所女性会(大阪商工会議所総務広報部内)
〒540-0029 大阪市中央区本町2-8 TEL:06-6944-6211 FAX:06-6944-6250



大阪商工会議所 副会頭
(株)サンリット産業 取締役社長
小池 俊二

ご挨拶

大阪商工会議所女性会は2年後の2008年に創立50周年を迎えられます。昨年の女性会総会の折、長谷川妙子女性会会長が50周年に向けて、今の会員240名から300名にすることを目標として会員を増強したいと決意を披露されました。何よりも会の発展のためには会員の数の拡大と質の向上だと存じます。会員増強は会員相互の交流の場を広くし、パワーを発揮するための基本的条件であります。さらに、大阪商工会議所の開催する講演会や研究会・勉強会それに親睦会などの会合における女性経営者の出席比率を全体の20%を目標にすることも付け加えていただけたらとお願いしたいと思います。

これからの50年を展望したとき、女性が男性よりかなり寿命が長いわけですから、長寿社会を付加価値の高い良き社会にするためには、女性のリーダーシップに期待する以外にないと考えられます。2004年秋に栄誉ある旭日雙光章を受賞されました尾崎公子女性会名誉会長がその手本を示されております。その見識と行動力はパワフルで商工会議所の発展に大きく貢献されておられます。

大阪商工会議所ではエリア・チェンバー化を進め、会員の皆様との接点を図っております。地域における日常の経営活動は商店や工場的女性経営者の活躍に大きく依存しております。それだけに、支部の運営に積極的にご参加いただき、女性経営者の目線からのご意見やご協力を賜われればと思っております。大阪商工会議所女性会のますますの活躍と発展を心より祈念しております。

新年互礼会

協栄産業(株) 代表取締役 吉田衣代

1月17日凛とした寒さの中、恒例の大商女性会新年互礼会が帝国ホテル大阪にて太田房江大阪府知事・野村明雄大商会頭ご臨席のもと、126名の参加者が集い、初春にふさわしく晴れやかに開催されました。冒頭、長谷川会長よりご挨拶があり「2008年の設立50周年に向けて、交流と創造をモットーに一丸となって会員増強に努力したい。皆様頼みます！」と今後の方針を示されると、すかさず全員の「まかしといて！」との力強い返事でスタート。引き続き、全女連特別功労賞を受賞された尾崎名誉会長の紹介があり、「私達は扉が開くのを待っているのではなく、自らの力で開いていくのです」とのご教示が心に響きました。続いてご来賓の挨拶で太田知事は、「女性の時代といっても今、これ程毎年会員が増えていくリーダーの会には他にはないでしょう。そのパワーを大阪の活力に活かして下さい」と多大な期待を寄せて下さいました。

そして野村大商会頭の乾杯のご挨拶と共に、和洋折衷のお料理を頂きながら、和気あいあいと会話の弾む中、アトラクションへと移り、常任委員の木内達子さんの情感溢れるシャンソンの唄声にしばしうっとりしました。終盤は、テーブル対抗のゲームに一同賑やかに打ち興じ、楽しいひとときを満喫し、会員相互の交流の輪がより一層深まりましたところで閉会となりました。



今最も輝く女性 — あなたの元気いただきます — 《新入会員編》

社会に喜ばれるものづくりを目指して (株)広瀬製作所 代表取締役社長 廣瀬恭子(2004年9月入会)



大商女性会へは、尾崎名誉会長にお誘いいただき一昨年入会いたしました。総会、新年会、事例発表会等、女性会の集まりを通じて、多くの素晴らしい女性経営者の方々と接することができ、大変勉強になりますし、勇気づけられています。女性同士だから話もしやすく、会合はいつも和やかで楽しく、かつ有意義なもので、入会してよかったと感謝しております。

私どもの会社は工業用ミシンの「かま」という縫い目をつくる部品のメーカーです。会社の歴史は100年以上あるのですが、広瀬製作所としては今年で60周年を迎えました。今後も良き伝統は守りながら、時代の変化に合わせて変えるべき点は勇気をもって変えていきたいと思っております。そして、常に「品質」を第一に「社会に喜ばれるものづくり」に愚直に励んでまいりたいと思っております。

女性会の会合にはできる限り出席したいと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い申し上げます。

大商女性会に期待すること!

オリエントラグ 代表 藤崎武子(2005年2月入会)



まずは、大商女性会に入会させて頂いた事を感謝いたしております。

幾度かの会合に参加させて頂き、皆様方のパワーに熱い思いを感じました。

世間では、インターネットや携帯電話等、私には少々遠い世界の物で冷いものを感じますが、会合の折に皆様の体験から得た知識や知恵を伝え合っ肌感じる画像の様なものがあると嬉しく思いました。

自分に置き替えて色々な案を想定して日常にトライしております。

今後の女性会に期待して、皆様方で他にない団体としての活動等計画をして行きたいと思っております。私自身としましては、ボランティア等時間のゆるす限りお手伝いしたく思っております。

人と人との出会いの素晴らしさに教えられて (株)初恋の人探します社 代表取締役 佐藤あつ子(2005年4月入会)



弊社では、現在では家出調査や浮気調査、はたまた企業信用調査や資産調査まであらゆる調査を扱っておりますが、「思い出の人」を探すということを機軸に業務を發展させてきました。その中で、私は依頼人様より「人と人との出会いの大切さ」を教えられ、一人の経営者として自分を取り巻く人々とどういった関係を作っていくのかを問われてきました。依頼人に対しては琴線に触れる報告を、従業員に対してはお互い自立した一人の人間として成長しあえる関係を、そして地域に対しては社会的貢献をしよう小さくともきらっと光る企業を作っていかなければならないと学んできました。

大阪商工会議所には長年加盟させていただいてきましたが、この度女性会とご縁ができ、また新しい出会いを持ちましたことを心より嬉しく思っております。女性会のメンバーのひとりとして、私たち中小企業と女性経営者が元気で生き生きと経営できる環境作りをしていける活動を支えていければと考えています。

お客様に愛されるタクシー 相互タクシー(株) 代表取締役社長 小野幸親(2005年7月入会)



当社は昭和6年、先代多田清によりタクシー事業の産声を上げました。その後、創業者による木炭自動車の発明を経て、今年75年目を迎えることが出来ました。商工会議所会員の皆様方には、幼少の頃より相互タクシーをご最厚にして頂き、誠に有難く感謝申し上げます。私は平成3年より代表者としてタクシー事業にたずさわって参りました。現在、タクシーは規制緩和による価格競争や原油の高騰、少子高齢化により大変厳しい経営環境にあります。タクシーの使命はお客様が安心してご乗車され、安全で快適にお送りすることです。時代の変化に伴いサービスの形は変化しますが、従業員を大切に、タクシーの品質にこだわる

ことが、当社の経営理念である「旅客運送事業を通じて社会に貢献するためお客様に愛され安心して乗れる相互タクシーを目指す」ことであるとっております。

女性会の一員として皆様と共に活動する中で皆様のご意見を頂戴し、より良いタクシーを市場に提供することで、社業の発展につなげてまいりたいと思っております。

『家族』をあるものから育くむものへ (株)清香苑 代表取締役社長 小栗真理子(2005年2月入会)



私は与えるよりももっと多くを人から学び、癒しを生業としながら逆に嘆き悲しむ遺族の方に癒され、多くの愛を与えられてきたと思います。私が辿ってきた人生の中で最も大切な家族愛、それがすべての人にもそうであることを信じて、夫、妻、子供、父、母、祖母、祖父の口を借りて、この愛の「証」をゆうに100作品は書きました。2才と6才の子供と妻を遺して42才という若さで逝った夫。耐えられない子供との訣れにただ悲しんでいるのではなく、冷静に成長していく子供達にはステキな人とは学校や社会でもどこでもベストをつくしてやるべきことをやる人だと、妻にも子供たちと様々な感情を分かち合うことがいかに幸

せに繋がり、人生に意味を持たせるものになるとやさしく説きます。人は本来弱いものなのです。だからこそ私たちは助け合い、肩を寄せ合って生きてきたはず。人間関係が厄介であろうと、ぶつかりあい、折り合いをつけながら人のなかに生きてきたのです。まず、家族愛をきちんと整える、それから大商女性会のメンバーと共に、郷土愛、祖国愛、人類愛へと心の幅、度量を広げていき、納得できる人生を生きたいと私は思います。

出愛を大切に

センターフィールド(株) 代表取締役 富田祐子(2005年3月入会)



この度は、「大阪商工会議所女性会」の末席に並ばせて頂く名誉を賜ってから、無事一年を過ごさせて頂きまして誠に有難う存じます。この一年の間に、諸先輩方からたくさんのお話を学ばせていただき、また多くの方との出会いも経験させて頂きました。それは、仕事上での出会いの範囲を超え、様々な職種の立場の方々と、同じような悩みだけではなく、もっと複雑なあるいはもっと深い問題もあることを知りました。今の大阪は、大勢の諸先輩方が力を併せて活気を取り戻そうとがんばっていらっしゃいます。そんな中で、私は経営者としてまだまだ若輩ではありますが、だからこそ見える部分があると思っております。「女性」

は時に『母』にもなります。これからは今まで以上に諸先輩方をお手本に、大きな視野で慈愛の心を持って、多くの方々とのお会いを重ねて参りたいと思っております。一つ一つのお会いを大切に、輪=和と思ひその和を広げることに、誠心誠意努めて参りたいと思っております。

心で感じる機会を頂いて

(株)山中保険事務所 取締役 山中紀子(2005年6月入会)



(株)山中保険事務所は、1942年に祖父が創業した保険代理店であります。その祖父山中紀三から一字を取り、私の名前は「紀子」と名付けられました。現在社長である父の後を継ぐべく修行する私の様子を、亡き祖父は、想像したかどうか分かりませんが、きっと天国で微笑ましく見ていることと思っております。

さて、日々の仕事はまだ経験不足なこともあり、見えぬ将来を思い「経営者とはどうあるべきか」試行錯誤・暗中模索する毎日であります。そのような折、『大阪商工会議所女性会』に入会させて頂き、先輩方との交流を通じ、経営者に必要な素養を文字や言葉ではなく直接心で感じ取る機会を頂きました事を何よりも感謝しております。人の喜びや悲しみを理解できること・

寛容な心を持つことの大切さ、笑顔で人を元気づけられることの素晴らしさを学ばせて頂いております。このような魅力溢れる方々の集まりである『女性会』は、正に社会の財産です。私もその一員となれましたことに感謝しつつ、自覚と責任を胸に、女性として、経営者として、日々大事に歩んで参りたいと思っております。まずは！何事にも積極的に、そして楽しみながら取り組み、生き活きと過ごしていきたいと思っております。今後ともご指導頂きますようお願い申し上げます。

女性による日本的情緒の復活

久栄工業(株) 取締役 濱田かほる(2005年7月入会)



先日第43期決算の終わった当社は、ずっと以前から大商様には経営相談その他でお世話になっていましたが、女性会のある事はつい先日迄知りませんでした。私は代表ではありませんので会社の中では専ら「何でも取締役」です。昨今の舵取の難しい世の中で、女性の社長様は孤独で広大な責務を感じておられるかと思っております。先日テレビで女性の起業家を表彰するニュースを見ました「戦後に強くなった女性と靴下」の言葉も今では死語かと思っております。世の中男女半々です。女性の視点で21世紀を変えて行く事も必要かと思っております。昨今の少子化問題も早急に手を打たねばならない現実です。幼き方の概念も変えるべき、男女同権は

良いが同質ではない。お互いが協力し合い機械的な合理主義や拝金主義的な世の中の風潮を人間らしい生き方のできる世の中へ変えるのも女性の特技だと思います。日本独特の四季の情緒文化。欧米の真似をするのはこの辺でやめよう。老婆心乍ら間に合ううちに30年後の日本の未来像を描ける様に若い方々に期待します。